

# CASBEE® 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |            |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称     | (仮)スタディハイツV          | 階数     | 地上14F      |
| 建設地      | 福岡県北九州市              | 構造     | RC造        |
| 用途地域     | 第1種中高層住居地域、防火地域指     | 平均居住人員 | 73 人       |
| 気候区分     | 地域区分IV               | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2014年12月 予定          | 評価の実施日 | 2011年9月12日 |
| 敷地面積     | 2,142 m <sup>2</sup> | 作成者    | 今西良一       |
| 建築面積     | 920 m <sup>2</sup>   | 確認日    | 2011年9月12日 |
| 延床面積     | 3,472 m <sup>2</sup> | 確認者    | 高崎徳彦       |



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 94%

③上記+②以外のオンサイト手法: 94%

④上記+オフサイト手法: 94%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.3

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

| 3 設計上の配慮事項   |   |  |
|--------------|---|--|
| 総合           | 地球温暖化防止と住人が住みやすい環境の二つを補えるよう配慮した。                          | その他<br>0   |
| Q1 室内環境      | 断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に配慮している。                | Q3 室外環境 (敷地内)<br>緑地を効果的に配置し、植栽に親むることができるように配慮している。 |
| LR1 エネルギー    | 省エネルギー計算からも明らかに、建物の熱負荷を十分に抑制している。各住戸の採光と通風を確保する配慮をいっている。  | LR3 敷地外環境<br>周辺環境への環境負荷の拡大を防ぐように努めている。             |
| Q2 サービス性能    | 建築基準法をクリアし、安全で快適な環境に配慮している。バリアフリーへの配慮にも気を配っている。           |  |
| LR2 資源・マテリアル | 水資源の保護と再生品再利用を積極的に採用するように努めている。また、有害物質の少ない材料を使用するよう努めている。 |  |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照された